

2021年12月13日
日本銀行北九州支店

北九州・京築地区の金融経済概況

(2021年12月13日)

(本件に関するお問い合わせ先)

日本銀行北九州支店 Tel 093-541-9112

当資料は当店ホームページにも掲載しています。

(<https://www3.boj.or.jp/kitakyushu/gaikyo/subgai.htm>)



1. 総論

北九州・京築地区の経済は、生産面における部品の供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。12月短観（全産業）をみると、企業の業況判断は改善した。

最終需要の動向をみると、公共投資は、緩やかに増加している。輸出は、供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。設備投資は、増加基調にある。個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響による下押し圧力がサービス消費を中心にみられるものの、持ち直している。住宅投資は、持ち直している。

こうした中で、生産は、供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

【前回との比較】

項目	前回	今回	
景気判断	生産面における部品の供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。	生産面における部品の供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。	
需要項目	公共投資	緩やかに増加している。	緩やかに増加している。
	輸出	供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。	供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。
	設備投資	増加基調にある。	増加基調にある。
	個人消費	新型コロナウイルス感染症の影響による下押し圧力がサービス消費を中心にみられるものの、持ち直している。	新型コロナウイルス感染症の影響による下押し圧力がサービス消費を中心にみられるものの、持ち直している。
	住宅投資	持ち直している。	持ち直している。
生産	供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。	供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。	
雇用	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。	

2. 需要項目別動向

公共投資は、緩やかに増加している。

輸出は、供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。

設備投資は、増加基調にある。

12月短観における2021年度の設備投資は、前年を上回る計画となっている。

個人消費は、新型コロナウイルス感染症の影響による下押し圧力がサービス消費を中心にみられるものの、持ち直している。

食料品等の販売は引き続き堅調に推移している。この間、新型コロナウイルス感染症への警戒感が和らぎ、人出が緩やかに増加するもとの、商業施設等では、衣料品販売が持ち直しているとともに、飲食業や旅行・観光関連業種においても、依然として厳しいながらも持ち直しの動きが窺われる。他方で、乗用車販売では、供給制約の影響が続いている。

住宅投資は、持ち直している。

3. 生産

生産は、供給制約の影響により、持ち直しの動きが一服している。

▽業種別生産動向

鉄鋼	高炉	高めの水準となっている。
	電炉	緩やかに持ち直している。
化学		高水準で推移している。
セメント		横ばい圏内で推移している。
住設機器		一部に供給制約の影響を受けつつも、緩やかに増加している。
電気機械		一部に供給制約の影響を受けつつも、高水準で推移している。
電子部品		一部で弱い動きがみられるものの、基調としては増加している。
自動車		部品の供給制約の影響により、減少している。

4. 雇用

雇用情勢をみると、労働需給は、新型コロナウイルス感染症の影響により緩和している。

5. 物価

消費者物価（除く生鮮食品、北九州市）は、0%台前半となっている。

6. 企業倒産

企業倒産をみると、落ち着いた動きとなっている。

7. 金融情勢

実質預金残高、貸出金残高は、新型コロナウイルス感染症の影響による法人資金需要の高まり等を背景に、前年を上回って推移している。

以 上